

# 東アジア学会第26回大会

共通論題「帝国日本と植民地」

日時：2016年10月15日（土）10:00～17:00（受付 9:30～）  
場所：西南学院大学 西南コミュニティーセンター 1階 多目的室  
マップ → <http://www.seinan-gu.ac.jp/campusmap.html>

午前の部（10:00～12:00）

司会：王忠毅（西南学院大学）

10:00-10:10

開会あいさつ

東アジア学会会長 小川雄平（西南学院大学名誉教授）

【自由論題】

座長：藤川昇悟（西南学院大学）

10:10-10:50 第1報告

「アジア新興国の経済的独立の獲得とビジネスイベント（MICE）の戦略的活用  
—これからの九州の成長戦略の参考として—」

報告者：前嶋了二（九州産業大学）

10:50-11:30 第2報告

「台湾の植民地時代からラオスとの国際貿易を考える」

報告者：松下愛（久留米大学地域連携センター）

11:30-12:10 第3報告

「地方企業のグローバル化の現状と課題—英語化の取り組みを通して—」

報告者：高松侑矢（西南学院大学大学院経営学研究科博士後期課程）

昼食 12:10-13:30

午後の部（13:30-17:00）

【共通論題シンポジウム】帝国日本と植民地 座長：金縄初美（西南学院大学）

13:30-14:00 第1報告

「植民地朝鮮における港湾および海運業の展開」

報告者：尹明憲（北九州市立大学）

14:00-14:30 第2報告

「1930～40年代の朝鮮語詩にみられる明朗性

—同時代日本における「明朗」言説と比較して—」

報告者：金晶晶（九州大学比較社会学府博士後期課程）

休憩 14:30-14:40

14:40-15:10 第3報告

「国語形成の道—植民地下朝鮮半島における国語政策」

報告者：中島和男（西南学院大学）

15:10-15:40 第4報告

「台湾日本語作家の戦後—龍瑛宗を中心に—」

報告者：新谷秀明（西南学院大学）

休憩 15:40-15:50

15:50-17:00 討論・質疑応答

コメンテーター：荒木雪葉（福岡大学）

矢羽田朋子（西南学院大学国際文化研究科後期博士課程）

懇親会